

# 福井県公安委員会 開催概要

平成22年6月3日開催「定例公安委員会」



## 会議状況

### 1 個別決裁

#### (1) 公文書公開決定等報告書

警察本部長に対する情報公開請求2件（5月14日付け及び5月19日付け）について、公開決定等の報告があり、これを了承した。

#### (2) 平成22年5月中の警察あて苦情の受理・処理状況

平成22年5月中に警察に寄せられた苦情の受理及び処理状況について報告があり、これを了承した。

#### (3) 県外特別派遣部隊の援助要求及び同意

原発警備に係る第113次の県外特別派遣部隊の援助要求について、関係各県公安委員会からの同意について報告があり、これを了承するとともに、第114次県外特別派遣部隊の援助要求を原案のとおり決裁した。

### 2 包括的案件

#### 〈報告事項〉

#### (1) 福井市内における未成年者誘拐、傷害事件の検挙

県警察から、福井市内における未成年者誘拐、傷害事件につき、本年5月30日に被疑少年を逮捕した旨の報告があった。

委員から「発生から約1週間のスピード解決であったが、要因は何か。」との確認があり、県警察から「被害者の記憶情報に基づく粘り強い捜査が効を奏した。」等と説明、委員から「本件は、県民の安全な生活を脅かす悪質重大な犯罪であるので、徹底した捜査をお願いしたい。」との発言があった。

#### (2) 岡本グループによる出資法違反被疑事件

県警察から、福井県警察、警視庁、静岡県警察、兵庫県警察が合同で捜査している岡本グループによる出資法違反事件につき、本年5月26日に関係個所の捜索を実施した旨の報告があった。

委員から「捜査には相当な時間を要すると思うが、徹底した事実解明に努めていただきたい。」旨の発言があった。

#### (3) 本県初の麻薬特例法違反事件の摘発

県警察から、携帯電話のサイトを利用した広域的麻薬密売事件につき、本年4月30日に被疑者を本県では初めて麻薬特例法を適用して送検した旨の報告があった。

委員から全国における本件薬物の顧客の規模等について確認があり、県警察から「顧客は全国41都道府県で220人以上に及ぶ。」旨の説明があった。

委員から「携帯電話のサイトを利用するなど潜在性の強い事件について違法薬物の密売を職業としていた犯人を検挙できたことは、大きな実績である。薬物の密売ルートや暴力団の関与等について徹底解明していただきたい。」旨の発言があった。

#### (4) 平成21年度「福井元気っ子リユウピープラン」の推進成果

県警察から、昨年4月に2カ年計画で策定した「福井元気っ子リユウピープラン」の平成21年度の事業成果に関し、平成20年度と比較した非行少年等の検挙・補導状況、平成21年度中に実施した主な施策及び今後の取組み（強化ポイント）について報告があった。

#### 【非行少年等の検挙・補導状況】

単位：人

区分	年次	平成21年度	平成20年度	増減	増減率(%)
非行少年総数		577	607	▲30	▲4.9
犯罪少年		479	503	▲24	▲4.8
触法少年		98	101	▲3	▲3.0
ぐ犯少年		0	3	▲3	▲100.0
不良行為少年		4,955	5,005	▲50	▲1.1

▲は減少を示す

委員から「非行少年等の総数が減少した理由には、各種協力団体による活動支援があるからではないか。」との意見があり、県警察から「委員の指摘のとおり、県下約360人の少年警察ボランティアによる積極的な活動が少年の非行防止において大きな力となっている。」旨の説明があった。

委員から「最近、犯罪に対する少年の罪悪感は低く、警察では非行防止教室を通じて少年の規範意識の向上を図り、一定の成果を収めているものの、警察だけでは体制的、時間的にも限界があることから、今後は、独自の非行防止施策の推進について学校に働きかけることも必要だと思う。」旨の意見があり、県警察から「教育庁や学校に対し、生徒の規範意識向上の強化を働きかけるなど、連携を一層強化したい。」旨の発言があった。

委員から「各種の少年非行防止対策が効果を上げているが、今後は、刑法犯認知件数で高い割合を示している万引き防止対策も強化していただきたい。」旨の発言があった。

#### (5) 外国語による運転免許学科試験及び聴覚障害者対象の特定任意講習の実施

県警察から本年6月1日から導入した英語による運転免許学科試験に関し、試験場所及び学科試験の種別について、並びに平成17年から年に2回開催している聴覚障害者を対象とした特定任意講習に関し、実施場所、受講対象者及び講習の概要等について報告があった。

委員から、「外国人は日本において国際運転免許で車を運転しているのか。」との確認があり、県警察から「母国で運転免許を取得している外国人の多くは、日本

の運転免許への切替えを行っている。最近、日本で運転免許試験を受ける外国人が多いものの、試験問題の日本語が理解できない受験者のために、世界でもっとも広く通用する英語での学科試験を導入したもので、今後、本県在住の外国人のニーズに応じて、ポルトガル語、中国語等の導入も検討したいと考えている。」旨の説明があった。

委員から、「外国語による運転免許の学科試験や聴覚障害者のための運転免許更新時講習等きめ細やかな対応で便宜を図っていることは大いに結構なことだと思う。特に、外国人ドライバーに対しては交通ルールを知らないことによる事故等を起こさせないよう交通安全教育をしっかりと実施していただきたい。」旨の発言があった。

### 3 運転免許の処分関係

本日（6月3日）実施した道路交通法違反等に関する意見の聴取2件の実施結果と処分内容に関する説明を受け、原案のとおりこれを決定した。